

平成23年第3回日野町議会定例会（3日目）

平成23年3月17日 午前10時 開議

一般質問通告表

	氏名	質問事項
1	松本利秋	<p>※これまでの一般質問の検証と施政方針について</p> <p>1. 日野町の発展と住みよいまちづくりの為に、今、町総合計画の策定に取り組んでおられますが、町民の意見をどのように反映されようとしているのか、また、まちづくりに生かされますか。</p> <p>1) 新年度に向けて、まちづくり町民会議の位置づけ、会議で出された意見を総合計画及びまちづくりに生かされますか。(具体的に)</p> <p>2) 総合計画の策定に当ってアンケートを実施された中で、</p> <p>＜高齢者対策として＞</p> <p>①交通手段を持たない人への支援</p> <p>②地域での見守り・支援の充実</p> <p>③高齢者同士が集まる場所の提供</p> <p>＜若者（少子化）対策として＞</p> <p>①雇用環境の充実・整備</p> <p>②インターネットの普及対策</p> <p>＜自由回答＞</p> <p>①町職員が積極的に地域とかかわり出かけて欲しい。(出かける行政)</p> <p>②自治会活動の支援など、住民の活力が発揮できるような町政にして欲しい。(まちづくり交付金の説明不足がありはしないか)</p> <p>③住民主導のまちづくりは良いが、主導する人材不足の集落をどうするかを考えないとまちづくりに向かえない。(自治会での指導者)</p> <p>2. 観光振興について</p> <p>1)パンフレットの製作、滝山公園の樹木表示や案内板の設置はどうか。</p> <p>3. 高校の再編について</p> <p>1)協議会の設置等、その後の経過は。</p>

2	中原 明	<p>※施政方針と当初予算について</p> <p>活力を取り戻し、若者の姿や子どもたちの声が聞こえる、活気ある町をいくらかでも取り戻すことが町政の大きな課題と施政方針で申されたが、その施策と当初予算への取り組みについて問う。</p> <p>①歳入にあたっては、安定的な財源確保を図るとは具体的にどうにか。</p> <p>②経常収支比率は当初予算ベースでは、どうなるか。</p> <p>③林業振興に間伐、路網整備、高性能機械導入等と計上されているが具体的にはどうにか。</p> <p>④実質公債費比率は健全化基準の25%を下回るのには目前に迫っていると申されたが、健全化基準は18%であり早期健全化基準が25%である認識はどうか。</p> <p>⑤財政も大きく改善が図られ、さらに安定し健全化に移行しているといわれたが、財政再建は道なかばである。行財政改革への取り組みへの方針が示されていない。どう取り組むのか。</p> <p>⑥第5次総合計画へのスムーズな移行を図るとあるが、第4次が平成23年3月末日で期間満了となるが、対応がなされていない。どうされるのか。</p>
---	------	--

3	小谷博徳	<p>※施政方針について</p> <p>平成23年度の町長の羅針盤ともいふべき施政方針の中に、少子化対策、若者定住、高齢者対策等この町が喫緊に直面している課題に取り組む施策が示された。本町の首長として遅きにはあるものの、的を射た当然の策として評価をしたい。しかし方針を具現化しないことには町の将来的展望が開けず、町長が示した対策の周辺を深く掘り起こし、より町民の目線にあった施策となる事を求めたい。</p> <p>1. 少子化対策について</p> <p>①子育て支援は少子化対策となりうるのか。</p> <p>2. 若者定住対策について</p> <p>①ワンルーム住宅は若者定住にどうつながるか。</p> <p>②かつてUターンで定住促進を図る考えを示された。具体的にどのように進められるのか。</p> <p>③いま、来町しているIターン青年がこの町に定住するためどのような支援をしているか。</p> <p>3. 高齢化対策について</p> <p>①高齢化の進化は人口激減時代の到来と予想されている。具体的対策を聞きたい。</p> <p>②高齢集落、高齢地区の増加は存続の危機につながる。危機回避の施策はあるのか。</p> <p>③高齢農家耕作放棄地防止に対策はあるのか。</p>
---	------	--

4	佐々木周子	<p>※保小中一貫教育について</p> <p>町長の施政方針に、保小中一貫教育の開始年にあたり、現在展開している事業を軸として、さらに保育所と義務教育の9年間との融合を図り15年間を見通した発達段階に応じた教育が滑らかに、きめ細やかに推進が図れるよう配慮し、家庭・地域・保育所・学校が連携し、家庭での生活のあり方と学力の向上に努めるとのことです。</p> <p>日野町子ども15年プランが作成されたが、具体的な内容について問う。</p> <p>1. 日野町子ども15年プランを読んでも、具体的な姿が見えてこない。</p> <p>① 家庭や地域への周知はどのようにされるのか。</p> <p>② 保小中の連携は今までもあったと思うが、一貫教育となって大きく変わってくることは何か。</p> <p>③ 子育て支援室が4月から教育委員会の所管となるが、保健師とのかかわりはどのようになるのか。</p> <p>④ 日野町子ども15年プランの中に「アプローチカリキュラム」「スタートカリキュラム」との言葉があるが、何か。</p> <p>⑤ 4月1日に子育て支援室及び保育所の所管が教育委員会となるが、スムーズな移行ができるか。</p>
---	-------	--

5	佐々木求	<p>※独居高齢者安否確認について 今年の大雪の中行われた独居高齢者安否確認の意義と反響は大きい。更に継続的な展開と充実が求められるが、今後の考えを問う。</p> <p>①訪問を行った結果として、何が求められ、何が必要であると捉えたか。</p> <p>②今後の展開に対する計画を持っているか。どういう形態、内容か。</p> <p>③対象を広げた計画にできないか。在宅での介護要望が増加する中「独居」という条件を外し、高齢者夫婦や、既に介護を受けている家など、行政が住民（主権者）に「寄りそう」「温かい自治体」の一步として位置付ける必要があると考えるがどうか。</p> <p>※住宅用火災報知機の設置について 「義務化」が6月と迫っている。住民の「安心」「安全」を考えると、「義務化する」というだけでは済まされない行政サイドの責任でもある。</p> <p>①現在の普及率、実態はどうか。</p> <p>②高齢者、低所得者、障害者等の「生活弱者」の支援が必要ではないか。「独居高齢者安否確認」などの事業と合わせ「どういう実態」としてとらえているか、又支援策を検討しているか。</p> <p>③一般の広報活動の中で、何が必要と考えるか。「補助」を含め、検討が必要ではないか。</p>
---	------	--